

特集 愛知県では 交通死亡事故が多発しています

5月1日現在、愛知県では58名の方が交通事故で亡くなっています。

本年の都道府県別事故死者数は全国で2位という順位ですが、愛知県は、過去14年連続ワーストワンという不名誉な記録を更新し続けています。一瞬にして尊い命を奪い、平和な暮らしを破壊する交通事故をなくすことは、私たち愛知県民の切実な願いです。しかしながら、多くの人々の努力にもかかわらず、交通ルールの違反やマナーの低下などを原因とする悲惨な交通事故は後を絶ちません。また、高齢者が事故死者数の約半数を占めているほか、交差点における事故やシートベルト非着用による死亡事故が高い割合で推移するなど、依然として厳しい状況が続いています。

都道府県別 事故死者数(年間)

1位	埼玉	62人
2位	愛知	58人
3位	兵庫	50人
4位	千葉	50人
5位	大阪	48人

(平成29年5月1日現在)

スローガン

ストップ・ザ・交通事故 ～高めようモラル 守ろうルール～

【サブスローガン】

広めよう交通安全スリーS運動

交通安全スリーS運動を展開して「思いやり」の輪を広げよう！

ストップ

赤信号はストップ、一時停止場所でストップ、飲酒運転をストップ

スロー

高齢者や子どもを見たら速度をスロー

スマート

運転中の携帯電話や急発進・空ぶかしをしないスマートな運転

ストップ・ザ・交通事故 高めようモラル 守ろうルール



※()内は、前年比 (平成29年4月末現在)

		合計	死亡	重傷	軽傷
弥富市	件数	78(−12)	1(0)	3(+2)	74(−14)
	人数	93(−37)	1(0)	3(+2)	89(−39)
蟹江町	件数	64(−14)	0(0)	3(+2)	61(−16)
	人数	89(−13)	0(0)	3(+2)	86(−15)
飛島村	件数	44(+ 4)	0(0)	0(−2)	44(+ 6)
	人数	55(+ 4)	0(0)	0(−2)	55(+ 6)

『ながらスマホ』していませんか？

車両運転中の「ながらスマホ」は法令で禁止されています！

自転車や自動車等の車両を運転しながら、スマートフォン等を操作する「ながらスマホ」は、視野が狭くなったり、注意力が散漫となるため大変危険であり、法令で禁止されています。

県内では、自動車運転中の「ながらスマホ」が原因で、交通死亡事故が発生しています。

運転中にスマートフォン等の操作は、絶対に行わないでください。



歩行中の「ながらスマホ」はトラブルの原因となります！

歩きながらスマートフォン等を操作する「ながらスマホ」をしていて、人にぶつかりそうになった経験はありませんか？

歩行中の「ながらスマホ」は周囲の人などの往来の妨げとなる場合もあります。周囲の方々への配慮をお願いします。

「ながらスマホ」に夢中になっているあなたを、ひったくりや痴漢が狙っているかもしれません。周囲に注意を向けることも必要です。



ルールとマナーを守り、安全な方法で
スマートフォン等を利用しましょう！

●問合せ先 開発部建設課